

# 桐生繊維業界の実態

令和4年1月～12月

桐生市繊維振興協会

## 桐生繊維業界の概要

※ 桐生市繊維振興協会の加盟団体を対象に、令和4年1月～令和4年12月までの業界実態を調査し、作成しました。（なお、桐生商工会議所 繊維部会、桐生織伝統工芸士会、起龍については、組合員重複により調査対象外としております。）  
また、加盟団体の退会等により調査対象に変更が生じる為、前年対比は参考数字とさせて頂く事を予めご了承下さい。

1. 調査対象団体数	10 団体		
2. 産地収入			
(1)生産高	40 億	6,893 万円	
(2)加工高	13 億	5,198 万円	
(3)販売高	48 億	9,418 万円	
	計 103 億	1,509 万円	
退会団体の収入(推定:前年対比99%)	12 億	2,901 万円	
	計 115 億	4,410 万円	(前年対比 99%)
3. 組合員数(事業所数)	165 事業所		
4. 総従業員数(家族従業員含む)	1,261 人		
5. 一事業所当たり従業員数	8 人		
6. 一事業所当たり生産加工販売高	6,252 万円		
7. 年度別産地収入高			
平成 24年 産地収入	257 億	5,924 万円	(前年対比100%)
平成 25年 産地収入	261 億	8,835 万円	(前年対比102%)
平成 26年 産地収入	254 億	1,823 万円	(前年対比 97%)
平成 27年 産地収入	218 億	6,296 万円	(前年対比 86%)
平成 28年 産地収入	166 億	0,011 万円	(前年対比 76%)
平成 29年 産地収入	154 億	2,194 万円	(前年対比 93%)
平成 30年 産地収入	149 億	3,836 万円	(前年対比 97%)
平成 31年 産地収入	144 億	5,759 万円	(前年対比 97%)
令和 2年 産地収入	126 億	6,652 万円	(前年対比 88%)
令和 3年 産地収入	116 億	5,426 万円	(前年対比 92%)

## 1. 組合員数及び従業員数

団体名		組合員数 (事業所数)	従業員数				計 (人)	従業員 平均年齢 (歳)
			雇用従業員 (人)		家族従業員 (人)			
			男性	女性	男性	女性		
桐生織物協同組合	広幅協議会	38	75	70	49	42	236	55
	内地協議会	35	56	70	44	31	201	59
桐生染色組合		13	125	74	4	4	207	50
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		7	29	56	8	8	101	51
桐生糸商組合		7	18	8	1	6	33	48
桐生刺繍商工業協同組合		36	66	102	60	63	291	57
東日本編レース工業組合		4	41	26	3	2	72	50
桐生紋紙組合		8	2	0	4	2	8	69
東毛ジャカード刺繍協同組合		6	3	3	6	6	18	63
桐生織物商友会		6	19	29	1	5	54	52
桐生テキスタイル商業グループ		5	20	15	1	4	40	53
合計		165	454	453	181	173	1,261	

### 注

- (1) 平成 7年 1月13日 群馬県綿スフ織物工業組合 解散し退会。
- (2) 平成 7年 5月17日 桐生織伝統工芸士会 入会。
- (3) 平成10年 3月31日 両毛輸出織物整染工業組合 解散し退会。  
平成10年 3月31日 両毛輸出スカーフ組合 解散し退会。  
平成10年 3月31日 桐生織物商業組合 解散し退会。
- (4) 平成10年 4月 1日 桐生和服裁縫組合 入会。
- (5) 平成11年 3月31日 桐生金銀系協同組合 解散し退会。
- (6) 平成12年 3月31日 桐生撚糸工業組合 解散し退会。
- (7) 平成13年 3月31日 桐生織物整経協同組合 解散し退会。
- (8) 平成18年11月28日 有限責任事業組合 起龍 入会。
- (9) 平成21年 3月31日 桐生和服裁縫組合 退会。
- (10) 平成28年 3月30日 桐生意匠組合 退会。
- (11) 平成31年 3月31日 桐生織物産地元売組合 退会。

## 2. 生産、加工高及び取引先区分（工業部門）

団体名		生産高 (万円)	加工高 (万円)	計 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
						県内	県外
桐生織物協同組合	広幅協議会	167,077	12,130	179,207	118	0	100
	内地協議会	31,558	-	31,558	117	0	100
桐生染色組合		-	36,000	36,000	108	30	70
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		44,372	48,262	92,634	79	13	87
桐生刺繍商工業協同組合		23,530	38,200	61,730	110	40	60
東日本編レース工業組合		129,901	-	129,901	100	16	84
桐生紋紙組合		2,600	-	2,600	100	85	15
東毛ジャカード刺繍協同組合		7,855	606	8,461	80	2	98
合 計		406,893	135,198	542,091	102	13	87

## 3. 販売高及び取引先区分（商業部門）

団体名	販売高 (万円)	前年対比 (%)	取引先区分 (%)	
			県内	県外
桐生系商組合	262,000	93	70	30
桐生織物商友会	148,000	101	15	85
桐生テキスタイル商業グループ	79,418	97	1	99
合 計	489,418	96	42	58

#### 4. 内需向、輸出向区分

団体名		内需向		輸出向		計 (万円)
		金額 (万円)	割合 (%)	金額 (万円)	割合 (%)	
桐生織物協同組合	広幅協議会	169,358	94	9,849	6	179,207
	内地協議会	31,558	100	-	-	31,558
桐生染色組合		36,000	100	-	-	36,000
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		81,454	96	11,180	4	92,634
桐生糸商組合		235,800	90	26,200	10	262,000
桐生刺繍商工業協同組合		61,730	100	-	-	61,730
東日本編レース工業組合		129,170	99	731	1	129,901
桐生紋紙組合		2,600	100	-	-	2,600
東毛ジャカード刺繍協同組合		8,461	100	-	-	8,461
桐生織物商友会		148,000	100	-	-	148,000
桐生テキスタイル商業グループ		71,476	90	7,942	10	79,418
合計		975,607	95	55,902	5	1,031,509

## 5. 各団体の取扱品目

団体名		品 目				
		割 合 (%)				
桐生織物協同組合	広幅協議会	服地	インテリア・ 資材	ネクタイ	その他	
		80	3	12	5	
	内地協議会	帯地	広幅生地	服飾品	着尺	
		41	47	2	10	
桐生染色組合		ポリエステル ナイロン、他	レーヨン アセテート	絹	綿・ウール	
		75	14	3	8	
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		ブラウス	ニット・ カットソー	ワンピース	スカート	その他
		19	1	3	3	74
桐生糸商組合		ポリエステル	アクリル	ナイロン	レーヨン	絹・綿・その他
		40	13	22	3	22
桐生刺繍商工業協同組合		婚礼衣裳	婚礼加工	ブラウス・ニット加工	ハンカチーフ加工	雑貨
		8	8	22	10	52
東日本編レース工業組合		インテリア	産業資材	衣料		
		64	24	12		
桐生紋紙組合		エンドレス ペーパー	フロッピー	紋紙		
		25	60	15		
東毛ジャカード刺繍協同組合		ワッペン	Tシャツ	ワッペン刺繍	その他の布帛	プリント加工
		84	3	11	1	1
桐生織物商友会		二次製品	和装小物	帯・着尺	その他	
		82	8	6	4	
桐生テキスタイル商業グループ		服地	ニット	その他		
		65	30	5		

## 6. 生産加工部門の現有設備状況

団体名		設備名	数量（台）
桐生織物協同組合	広幅協議会	普通織機	42
		自動織機（片レピア含）	128
		超自動織機（レピア）	324
		計	494
	内地協議会	広幅織機	6
		並幅織機	229
		小幅織機	36
		自動・レピア織機	20
計	291		
桐生染色組合	常圧噴射式染色機	50	
	高圧噴射式染色機	5	
	高圧液流染色機	30	
	チーズ染色機	30	
	計	115	
桐生ものづくり協同組合 （旧 桐生繊維製品協同組合）	ミシン	50	
	プレス	1	
	その他	61	
	計	112	
桐生刺繍商工業協同組合	横振ミシン	42	
	多頭式ミシン	353	
	計	395	
東日本編レース工業組合	ラッセル機	95	
	計	95	
桐生紋紙組合	デザインシステム	13	
	横彫エンドレスパンチ機	7	
	紋紙パンチ機	6	
	ワンパンチ	2	
	計	28	
東毛ジャカード刺繍協同組合	コンピューターミシン	11	
	プレス機	2	
	本縫いミシン及びその他の機械	11	
	パンチング製版及びプリント機	2	
	計	26	

## 7. 最近の推移（R4年10月～R5年2月）

団体名		受注・引合の状況				販売（加工）単価の状況			
		増	変わらず	下降	前年対比 （%）	増	変わらず	下降	前年対比 （%）
桐生織物協同組合	広幅協議会	○			118		○		100
	内地協議会	○			117		○		100
桐生染色組合		○			110	○			110
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)		○			103	○			110
桐生糸商組合				○	85	○			106
桐生刺繍商工業協同組合		○			110		○		100
東日本編レース工業組合				○	90	○			105
桐生紋紙組合			○		100		○		100
東毛ジャカード刺繍協同組合				○	80		○		100
桐生織物商友会			○		100	○			101
桐生テキスタイル商業グループ			○		100		○		100
合計		5	3	3		5	6	0	



## 8. 商品 消費者ニーズの変化について、令和4年(1月～12月)の状況、事業概要、今後の課題

### 桐生織物協同組合

#### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 洋装部門の国内向けニーズはアフターコロナを見据え、引き合いが増加している。  
しかし受注ロットは最小限に抑えられるなど、まだ先行きは見通せない。  
輸出については市場が活発な中国に期待をしている。
- ・ 和装部門について、夏物製品やカジュアル指向の絹製品においては、コロナにより祭り等のイベント中止や、着物を着る機会での活動自粛が続き、消費者ニーズは冷え込んでいたが、今後の回復に向けて引き合いが増えてきている。  
またフォーマルにおいては、七五三関連のニーズは継続している。

#### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 洋装部門として、東京で10月に桐生テキスタイルコレクション 2023AWを開催。  
また、12月にはJFW ジャパンクリエイションへの出展をした。  
輸出向けとして、7月にミラノで開催される予定だったミラノウニカは出展をとりやめた。  
SNSやウェブサイトによる情報発信に加えて、産地ブランディングを推進する方法について検討をすすめている。
- ・ 和装部門については、前半はコロナ禍により極端に厳しい商況であったが、後半にはアフターコロナに向けた引き合いが増え始めた。しかしながら流通在庫の停滞もあり本格的な回復にはまだ時間が必要である。  
まだまだ厳しい状況が続いているが、新製品の開発事業や販路開拓事業など、直接販売に関する事業については積極的に展開をした。

#### 今後の課題

- ・ 洋装部門として、独自性のある付加価値の高い織物の開発を継続していくとともに、多様化する市場ニーズに対応し、幅広い顧客に対してアプローチしていく事が必要だと考えられる。
- ・ 和装部門については、積年の課題となっている和装離れの歯止めをはじめ、織機等の部品の枯渇問題や関連工程の技術者不足など、取り組む課題は少なくない。  
アフターコロナに向けた商品作りにも取り組んでいる。

## 桐生染色組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 前年と比較して回復傾向ではあるが、まだ力強さに欠ける。

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 受注面では回復の傾向が見られる。
- ・ 加工料の改定が若干ではあるが進行中(アップの方向で)。

### 今後の課題

- ・ 年間を通して燃料単価が大幅にアップしている。(A重油、桐生ガス)
- ・ 電気料金、染料、助剤も大幅にアップしていて加工料の改定をも上回り、各社の努力を上回る原料価格高騰により吸収できなくなっている。
- ・ 各社の努力と粘り強い価格改定が必要。

## 桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 円安の影響からか日本製の海外での需要が高まっており、グローバルな展開が急務である。

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 4月から海外からの渡航が緩和された事により、当組合の中心事業である外国人技能実習生事業では通常に戻った。また、労働人口減少の影響からか、一度母国に帰った実習生を特定技能1号として呼びたいなどの依頼もあり、今後増加が期待される。

### 今後の課題

- ・ 業界全体としては依然縮小が続いているが、協業生産などの体制を強化することにより大口の受注や納期の短縮を行うことが必要である。これを実現して海外へ輸出が出来れば、業界としても明るい先が見えてくる。

## 桐生糸商組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 今期のコロナ感染の影響は、昨期より大きい様感じた。只、11月末より少しずつではあるが、内需が増して来た。それは日本人の海外渡航者数にも表われているが、外出する人々が少ない状況が続いているからではないか？

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ コロナ感染症対策グッズ、及び防災関連製品は、ある程度動いているが、全体から見れば数量は少ない。11月になってもマフラー関係の動きは少なく、12月に入って、マフラー及び内地向け服地の受注が入って来た。

### 今後の課題

- ・ コロナ感染の恐ろしさは、日本人のあらゆる行動に大きな影響を与えた。全国の感染者数は減ったものの、必要外の外出には当面及び腰になる人が多いと感じる。結果、一般の服地は回復に時間を要する。ファッション以外の製品を特別な機能を付与出来る糸で作り、それを定着させる事が重要であると思われる、難しいが。

## 桐生刺繍商工業協同組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 組合員の二極化が進む中、総じて受注量の落ち込みに伴い売上は減少し、景況感も悪化している。又、原糸価格を含む資材の値上がりが続く。需要の高まりは感じられるものの、価格転嫁が進まず利益は上がっていない。資材の値上がりが続き景況感悪化している。

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 引き続きコロナ禍ではあるが、ネット販売や経済をまわす政策などにより前年より少しずつ仕事量は増えつつあるが、資材コストの上昇や送料のアップにより収益は厳しいものがある。

### 今後の課題

- ・ 技術者の高齢化による人材の確保。
- ・ 後継者不足等。

## 東日本編レース工業組合

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ コロナは終息に向っているが、多くの商品の値上げによりインテリア・衣料等の購買意欲が減退していると思われる。

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ ポリエステルを中心に原材料価格が数度にわたり上昇し、又、加工場に於ては電気代ガス代等の大巾値上げによる加工賃 up の要請が続き、商品の価格転嫁に追われる一年であった。

### 今後の課題

- ・ インテリア商品、特にカーテンの需要減退が年末から顕著になり、原材料の価格も高止まりしていることから付加価値の高い商品開発と設備投資等による生産性向上が求められる。

## 桐生紋紙組合

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 昨年と変わらずコロナ禍や開発コストの影響などで新規依頼が低迷してはいるが、徐々に回復の兆しは見られていると思われる。

### 今後の課題

- ・ 光熱費や材料費の高騰による価格転嫁。また、引き続き従事者の高齢化と減少が進んでいる為、後継者の育成が大きな課題と思われる。  
設備等のメンテナンスも難しくなっている。

## 桐生織物商友会

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ 商品単価の値上りに伴い、買い控えの傾向になってきているのではと危惧しています。  
賃上げ等、国全体の問題ですが、価格にとらわれずニーズを高める対策が必要だと思えます。

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 物価高騰による社会全体の冷え込みの中で、業界の状況も厳しくなっていると思えます。

### 今後の課題

- ・ 業界の課題も山積していると思えますが、コロナやウクライナ、温暖化など、日本及び世界経済にマイナス要因を生む問題が終息する事を願います。

## 桐生テキスタイル商業グループ

### 商品 消費者ニーズの変化について

- ・ ウィズコロナが浸透し外出が増え始め購買機会は増え始めた。  
反面ウクライナ紛争に伴う諸問題が原因で、相変わらず服が購入されるムードは出てこなかった。  
あらゆる商品の価格が上昇したため、必需品の購入が優先され服は、そのあとに回されていると思われる。安い多くの服を買いそろえるより、高品質の一点商品を購入する機会が増えてきた。量より質の競争に入ってきている。

### 令和4年(1月～12月)の状況、事業概要

- ・ 全国旅行支援「愛郷ぐんま全国割」などの利用が進み人が動き始めた。そのため、旅行のため服を買って出発する機会も増加してきた。  
一方で、円安は落ち着きを見せ始めた反面、引き続き仕入れ価格の上昇は、続いている。  
アパレルの下代の低下が止まらない。値下げ圧力は、強まりつつある。  
他方で相変わらず原料価格の上昇が止まる気配は、見えない状態にある。  
どのようにコストの上昇を抑えるか苦慮した期間であった。  
服地の品質は決まっても、オリジナルの原糸の在庫の不足や、廃番になるなど商談が途切れてしまうケースが多かった。加えて、フィラメントなど燃糸が必要なものは、燃糸スペースがなく納期遅れの原因となっていた。

### 今後の課題

- ・ 各工程で廃業が相次いできている。サプライチェーンを維持することが命題となってきている。  
縫製工程は、中国の人民元レートの上昇や、コロナによる工場閉鎖のため、中国生産に不安を抱えている。  
生産を国内で探しているが、淘汰と縮小が進み受け入れる工場が見つからない。  
生産が戻ってきたが受け入れができない状況をどう打開するかが課題となっている。

以 上

## 桐生市繊維振興協会 加盟団体名簿

令和5年5月1日現在

(順不同)

団体名	代表者名	所在地	電話 (0277)
桐生織物協同組合	小林 雅子	桐生市永楽町5-1	43-2511
桐生染色組合	堀 貴之	桐生市東7-4-16 (有)ホリスレン 内	44-1061
桐生商工会議所 繊維部会	柳 明彦	桐生市錦町3-1-25	45-1201
桐生ものづくり協同組合 (旧 桐生繊維製品協同組合)	岡部 利明	桐生市本町2-4-36	46-8118
桐生糸商組合	川村 隆	桐生市仲町3-15-6 川村(株) 内	44-4171
桐生刺繍商工業協同組合	村田 欽也	桐生市永楽町6-6	22-7919
東日本編レース工業組合	黒澤 昇	桐生市永楽町6-6	22-3847
桐生紋紙組合	周東 直樹	桐生市広沢町5-1675-1 (有)周東紋切所 内	54-1949
東毛ジャカード刺繍協同組合	西村 千春	桐生市新宿3-7-34	43-1166
桐生織物商友会	和田 貞之	桐生市川内町1-98-5 (株)ワダミツ 内	65-6188
桐生テキスタイル商業グループ	篠田 一	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
桐生織伝統工芸士会	泉 太郎	桐生市永楽町5-1 桐生織物(協) 内	43-2511
起龍	丸山 裕	桐生市東7-1-8 ミツミテニー(株) 内	44-3027

事務局 公益財団法人桐生地域地場産業振興センター 内  
 〒376-0024 桐生市織姫町2-5  
 電話 (0277) 46-1011  
 FAX (0277) 40-1300